



2019年11月28日
商工中金

ALSなどの難病克服のため、遺伝子治療薬の研究開発に取り組む 株式会社遺伝子治療研究所様を金融面からサポート

商工中金は、事業性の判断が難しく、収益化に時間の要する分野に取り組む中小企業の皆さまを、関係機関と連携を取りながら、積極的にサポートしています。

商工中金（川崎支店）は、株式会社遺伝子治療研究所様（本社：神奈川県川崎市、代表者：浅井 克仁氏）に対し、遺伝子治療技術を用いた筋萎縮性側索硬化症（以下 ALS）の治療薬製造開発などに必要な資金を融資しました（うち、一部は川崎市信用保証協会を利用しています）。なお、本件は、同社にとって初の借入金による資金調達となります。

同社は、治療法が確立していない難病の遺伝子治療薬を開発するバイオベンチャー企業です。安全性に優れたアデノ随伴ウイルスを治療用遺伝子の運び手として応用するアプローチにより、一回の施術で長期的な効果が期待できる技術に特長があります。

また、遺伝子治療に関する専門の特許を保有し、ALS、パーキンソン病、アルツハイマー病などに関して基礎研究から臨床研究まで一貫して対応しています。今後も、遺伝子治療薬の研究開発を自治医科大学などの外部機関と連携し、臨床研究を進めることで、早期に医療現場に提供できる体制を整えていきます。

商工中金は、同社の取組みが、革新的な治療法を通して難病に苦しむ人々の救済に貢献するものとし、綿密な事業性評価を行った上で、今後の事業展開に必要な資金を融資しました。

商工中金は、持続可能な社会の実現に向けて、中小企業の皆さまの「SDGs（持続可能な開発目標）」に貢献する取り組みを積極的にサポートしてまいります。

【株式会社 遺伝子治療研究所様の概要】

所在地	川崎市川崎区殿町 3-25-22
代表者	浅井 克仁様
資本金	5,600 万円
従業員数	25 人(2019 年 10 月現在)
設立	2014 年 5 月
業種	遺伝子治療薬の研究・開発

